



国際ロータリー第2800地区
鶴岡西ロータリークラブ

地区方針 **「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう！**

第2550回例会 2020年11月30日（月） 会場：グランド エル サン

◆会長 佐藤一嘉 ◆幹事 辻 博智

会長挨拶 佐藤 一嘉君



今月12～13日にかけての2日間、鶴岡商工会議所サービス部会の視察研修がありました。今年にはコロナ禍によって、地元鶴岡の企業などを視察しました。本日のゲストで在りますヤマガタデザイン。当クラブ会員のワイナリー松ヶ岡。いさごや さんなどです。

最初に鶴岡シルク大和社長の所にお邪魔したのですが、シルクの歴史は鶴岡の歴史とばかり、幕末から明治時代の鶴岡の歴史を学びました。特に藤島長沼地域から出た、斎藤外市が発明した電動式の絹織物機械は全国に普及し、当時トヨタグループ創始者、豊田佐吉が綿の織機を作ったことで、「東の絹の斎藤外市。西の綿の豊田佐吉」言われたそうです。

その時に目についたものを紹介します。西郷隆盛が松ヶ岡開墾に携わる旧庄内藩士に贈った箴言です
気節凌霜天地知（きせつりょうそうてんちしる）

① 困難に直面しても それを凌ぐ強い心意気・意思があれば 天は見ている
必ず苦勞に こたえてくれるもの

② 時間をかけ 大きな仕事を 成し遂げると 人間として大きく成長することができる
いずれの社長も、共に夢を大きく壮大にもち、それに前進していくパワーを大きく感じたのが印象でした。いずれにしても、他社を勉強することで、自社にない所を気づき、何かを描くことができるのは、まちがいないようです。ぜひコロナ禍が収束した時は、どンドン外に出てきましょう。

「人間を尊重すれども物質を軽んぜず」 にんげんをそんちょうすれどもぶつしつをかるんぜず

この格言は、人間と物質との正しい関係について述べたものです。

今日、人間尊重ということが強く叫ばれています。いうまでもなく人間は、その生命と人格が絶対的価値をもつものとして、等しく尊重されなければなりません。世界人権宣言にも民族、国家、宗教、言語、性の違いを超えて、すべて人間は平等に尊重されなければならないことがうたわれています。

しかし現実の社会においては、物質中心や物質偏重の傾向があり、人間性が疎外されるという現象が多く見られます。また、ともすると金銭や物質を人間の生命以上に重んじたり、あるいは虚礼にとらわれて、自分も無理をし他人にも無理をさせて、人間関係を悪くしたり、健康を害することもあります。

昔から「衣食足りて礼節を知る」といわれているように、物質は人間生活において欠くことのできない要素です。物がなければ心がすさむというのは一面における事実です。しかし、物があれば人間は礼儀や節度をわきまえるかということ、必ずしもそうではありません。なぜなら人間の欲望には際限がないからです。欲望の赴くままに物質的な豊かさだけを追求し続けているかぎり、私たちはいつまでたっても足ることを知らず、心貧しい生活から逃れることはできません。

人間の生活は、精神生活と物質生活によって成り立っています。したがって、精神だけを重んじて物質を軽んずるのも、また逆に物質だけを重んじて精神を軽んずるのも、ともに不合理であるといわなければなりません。人間を尊重することを根本として、人間生活を豊かにする範囲において物質を尊重し、物そのものの価値を正しく生かしていくのです。

品性の完成を究極の目的とする、徹底した人間尊重の立場に立っています。しかし、それは物質を軽視して、精神だけを強調する精神至上主義を意味するものではありません。私たちは、真に温かい人格的な交わりと互いの道徳的努力を尊重するとともに、生命を養う物質の価値を十分に認めて、調和のとれた生活を築いていくことが必要です

幹事報告 辻 博智

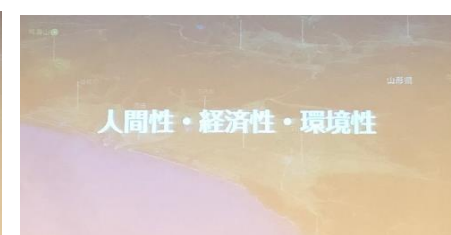
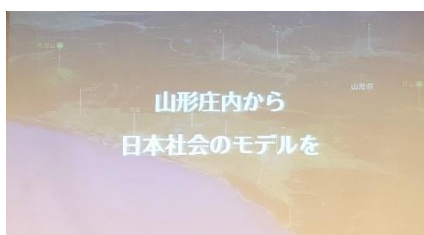
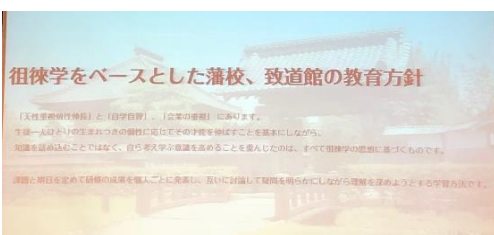
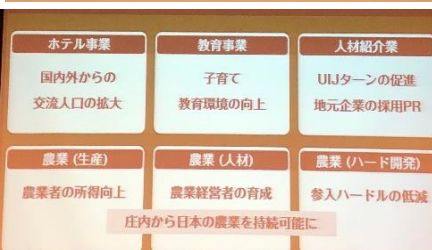
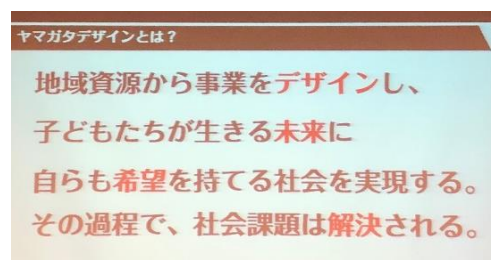
- ・ 次回12月7日は「年次総会」・「クラブ協議会」です
各委員会の委員長方は、上期活動報告をお願いします。



ゲストスピーチ



ヤマガタデザイン株式会社
街づくり推進室 マネージャー
長岡 太郎 様



ニコニコBOX

- ・ 村田 久志 君 長岡様 本日はご講演ありがとうございました。

本日の出席	会員数	29名	出席数	20名	出席率	71.43%
前々回の出席	出席率	53.57%	修正出席者数	21名	確定出席率	75.00%